

設 立 趣 旨 書

1 趣 旨

市之川鉾山は、わが国最大のアンチモン(アンチモニー)鉾山であり、明治時代には世界有数の産出量を誇っており、さらには結晶の巨大さ美しさにより「世界一のアンチモン(アンチモニー)鉾山」と評価されておりました。輝安鉾の巨大な結晶の多くは欧米を中心とした海外に流出しており、世界の名だたる博物館に市之川産として所蔵されております。残念ながら、現在は地元でもほとんどの人が市之川鉾山及び輝安鉾のことを知らないという状況となっております。

しかし、西条市内には市之川鉾山及び輝安鉾の研究と保存に長年尽力している方が居ますし、市外におきましても市之川を何度も訪問していただいている愛好者の方が居ります。最近では、地元の高校生にも市之川鉾山の認識が広がっており、人工輝安鉾結晶の精製研究や輝安鉾オリジナルグッズの開発・販売及びワークショップ等を通じて市之川鉾山及び輝安鉾を見直して広める活動に取り組んでいただいております。また、海外の有名な鉾物関係の雑誌にも市之川鉾山輝安鉾の特集が掲載されており、輝安鉾の巨大な結晶が市之川鉾山のみで発見されていることに対する世界の評価が高いことがわかります。

市之川鉾山が閉山して68年が経過し、市之川公民館も今年度末で閉鎖されることが決定しております。このままでは、市之川の現地も荒廃し、市民からも忘れられ、愛好者にとっても残念な状況になることが懸念されます。この機会に市之川鉾山及び輝安鉾の魅力を多くの人に伝える啓発活動と市之川関係資料の収集・保存に努めて後世に引き継いでいかなければなりません。この活動を広げて、世界一のアンチモン(アンチモニー)鉾山と誇れるようなまちづくりを推進する基盤を整備するため、NPO法人市之川鉾山の未来を考える会を設立します。

2 申請に至るまでの経過

- ・令和7年8月4日
NPO法人設立の準備
- ・令和7年8月17日
設立総会を開催

令和7年8月17日

NPO法人市之川鉾山の未来を考える会
設立代表者 住所

氏名 塩出 崇

